



IMI 共通語彙基盤

「コア語彙バージョン 2.4」リリースノート

コア語彙 2.3.2 からの変更点 第2版

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)
(法人番号 5010005007126)

公開日 2017年3月31日
更新日 2017年4月21日

この文書について

この文書は、経済産業省及び独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が推進する IMI(Infrastructure for Multilayer Interoperability:情報共有基盤)事業のうち、「共通語彙基盤」の中核をなす「コア語彙」についての解説資料のひとつです。

IMIは、電子行政分野におけるオープンな利用環境整備に向けたアクションプランの一環で、データに用いる文字や用語を共通化し、情報の共有や活用を円滑に行うための基盤です。共通語彙基盤と文字情報基盤により、行政サービスの相互運用性(Interoperability)向上を図っています。

共通語彙基盤では、氏名、住所、組織等、あらゆる社会活動において共通して使われる中核的な用語を対象に「コア語彙」を整備しています。様々なシステム間で情報を交換するための基礎となる語彙で、データ交換、オープンデータの二次利用等の効率化に役立つものです。

「コア語彙」は、2014年6月の初版公開以降、利便性の向上と適用範囲の拡大を目指し、適宜利用者のみなさまのご意見を取り入れた改版を行っており、2017年3月31日に「コア語彙バージョン 2.4」を公開しました。本文書は、「コア語彙バージョン 2.4」について、2016年11月18日に公開した「コア語彙バージョン 2.3.2」からの変更点を記載しています。

公開日 2017年3月31日

更新日 2017年4月21日

独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

この文書のご利用にあたって

この文書のご利用方法は、掲載ホームページである IMI サイト(<https://imi.go.jp/>)のご利用方法(<http://imi.go.jp/about.html>)に準じることとします。

▶ 著作権

この文書を含む IMI サイトの内容については、個別に指定のある物を除き、CC0 1.0 全世界 (<https://creativecommons.org/publicdomain/zero/1.0/legalcode.ja>) によるものとします。

▶ リンクについて

この文書を含む IMI サイトへのリンクは、ご自由に行っていただいて結構です。

▶ 免責事項

経済産業省及び IPA は、この文書を含む IMI サイトに掲載する情報及び各種ツールについて、その内容の完全性・正確性・有用性・安全性等については、いかなる保証を行うものではありません。またこの文書を含む IMI サイトに掲載されている情報は、経済産業省及び IPA の活動に関する情報の一部であって、その全てを網羅するものではありません。サービスを利用したこと、利用できなかったこと、サービスに掲載されている情報に基づいて利用者が下した判断および起こした行動によりいかなる結果が発生した場合においても、経済産業省及び IPA はその責を負いません。あらかじめご了承ください。

目次

1	コア語彙バージョン 2.4 について	3
2	バージョンアップ内容詳細	3
2.1	プロパティの移動	3
2.2	クラス用語の追加	4
2.3	クラス用語の継承元変更	8
2.4	プロパティの追加	9
2.5	その他の変更	9
2.6	新たに利用を推奨しないこととなったプロパティ用語	10

1 コア語彙バージョン 2.4 について

2016 年 11 月 18 日に公開した「コア語彙バージョン 2.3.2」に対するご意見をふまえた改版を行い、後方互換性を持つ「コア語彙バージョン 2.4」として公開いたします。

今回のバージョンアップのポイントは、以下の通りです。

1. プロパティ用語「ID」、「表記」、「参照」、「画像」、「説明」を、多くのクラス用語が共通に継承しているクラス用語「事物」のプロパティへ移動し、これらのプロパティが一般的に利用できるようにした。
2. 活用現場からの要望が高かった、9つのクラス用語を新設した。
3. 旧バージョン（「コア語彙バージョン 2.3.2」）からの後方互換性を維持した。

バージョン	コア語彙バージョン 2.4
公開日	2017 年 3 月 31 日
URL	http://imi.go.jp/ns/core/Core240.html
改版前の最新版	コア語彙バージョン 2.3.2(2016 年 11 月 18 日公開)

2 バージョンアップ内容詳細

2.1 プロパティの移動

各クラス用語に個別に定義されていた「ID」、「表記」、「参照」、「画像」、「説明」のプロパティを「事物」クラス用語に集約しました。

それに伴い、「イベント」、「活動」、「住所」、「人」、「製品」、「設備」、「組織」、「地物」¹、「名称」、「連絡先」のクラス用語から上記プロパティがなくなっていますが、これらは継承によって利用されることとなり、互換性が保たれています。

¹ 旧バージョンの「地物」クラスにあった「参照」プロパティの値型は anyURI でしたが、本バージョンにおいては「事物」クラスに統合された「参照」プロパティを継承することとなったため、値型が「参照型」に変わりました。しかし、応用上、実質的な問題は生じません。

表 1 「事物」クラスへ集約されたプロパティ

クラス用語	プロパティ	値型	回数	説明
事物				
ID	ic:ID 型	0..n		事物に割り振られた ID(識別子)を記述するためのプロパティ用語
表記	xsd:string	0..n		文字列による表記を記述するためのプロパティ用語
参照	ic:参照型	0..n		追加情報などを参照する URL を記述するためのプロパティ用語
画像	xsd:anyURI	0..n		画像を参照する URL を記述するためのプロパティ用語
説明	xsd:string	0..n		説明を記述するためのプロパティ用語

2.2 クラス用語の追加

追加されたクラス用語は以下の通りです。

(1) 概念

- 識別子: ic:概念型
- 繙承 :
- 説明 : 全ての型のベースとなる基本型としてのクラス用語
- プロパティ : なし

「概念」は、具体的なものや事象ではなく、抽象的な概念を表すクラス用語も含めたすべてのクラス用語の継承元となる基本クラス用語として、新設いたしました。

(2) コード制約

- 識別子: ic:コード制約型
- 繙承: ic:制約型
- 説明: 対象となる事物の制約条件をコードによって指定するためのクラス用語
- プロパティ

表 2 「コード制約」のプロパティ

識別子	項目名	プロパティの 値型	回数	説明
ic:制約コード	制約コード	ic:コード型	0..n	制約コードを記述するためのプロパティ用語

(3) サービス

- 識別子: ic:サービス型
- 繙承: ic:事物型
- 説明: サービスの情報を表現するためのクラス用語
- プロパティ

表 3 「サービス」のプロパティ

識別子	項目名	プロパティの 値型	回数	説明
ic:種別	種別	xsd:string	0..n	様々な事物の種別の表記を記述するためのプロパティ用語
ic:種別コード	種別コード	ic:コード型	0..n	種別コードを記述するためのプロパティ用語
ic:名称	名称	ic:名称型	0..n	名称を記述するためのプロパティ用語
ic:利用対象	利用対象	ic:対象型	0..n	利用対象となる事物を記述するためのプロパティ用語
ic:利用方法	利用方法	xsd:string	0..n	利用方法を記述するためのプロパティ用語
ic:提供者	提供者	ic:実体型	0..n	サービスを提供する実体もしくは組織や人を記述するためのプロパティ用語

(4) 制約

- 識別子: ic:制約型
- 繙承: ic:概念型
- 説明: 対象となる事物の制約条件を表すクラス用語
- プロパティ

表 4 「制約」のプロパティ

識別子	項目名	プロパティの 値型	回数	説明
ic:種別	種別	xsd:string	0..n	様々な事物の種別の表記を記述するためのプロパティ用語
ic:制約対象	制約対象	xsd:string	0..n	制約対象を記述するためのプロパティ用語
ic:説明	説明	xsd:string	0..n	説明を記述するためのプロパティ用語

(5) 参照

- 識別子: ic:参照型
- 繙承: ic:概念型

- 説明: 追加情報等を参照するためのクラス用語
- プロパティ

表 5 「参照」のプロパティ

識別子	項目名	プロパティの 値型	回数	説明
ic:種別	種別	xsd:string	0..n	様々な事物の種別の表記を記述するためのプロパティ用語
ic:種別コード	種別コード	ic:コード型	0..n	種別コードを記述するためのプロパティ用語
ic:参照先	参照先	xsd:anyURI	0..n	追加情報などを参照する URL を記述するためのプロパティ用語

(6) 対象

- 識別子: ic:対象型
- 繙承: ic:事物型
- 説明: イベントや制度等の対象となる事物を表すクラス用語
- プロパティ

表 6 「対象」のプロパティ

識別子	項目名	プロパティの 値型	回数	説明
ic:制約	制約	ic:制約型	0..n	対象となる事物の制約を記述するためのプロパティ用語

(7) 文書

- 識別子: ic:文書型
- 繙承: ic:事物型
- 説明: 文書の情報を表現する (Dublin Core Metadata Element Set に準拠)
- プロパティ

表 7 「文書」のプロパティ

識別子	項目名	プロパティの 値型	回数	説明
ic:表題	表題	xsd:string	0..n	情報資源に与えられた名前を記述するためのプロパティ用語
ic:作成者	作成者	ic:実体型	0..n	情報資源の内容の作成に主たる責任をもつ実体を記述するためのプロパティ用語
ic:キーワード	キーワード	xsd:string	0..n	情報資源のトピックを記述するためのプロパティ用語
ic:発行者	発行者	ic:実体型	0..n	情報資源を公開することに対して責任をもつ実体を記述するためのプロパティ用語
ic:寄与者	寄与者	ic:実体型	0..n	情報資源の内容になんらかの寄与、貢献をした実体を記述するためのプロパティ用語
ic:日付	日付	ic:日付型	0..n	情報資源のライフサイクルにおけるなんらかの事象に関するある時点又は時間的区間を記述するためのプロパティ用語
ic:資源タイプ	資源タイプ	xsd:anyURI	0..n	情報資源の性質又はジャンルを記述するためのプロパティ用語
ic:記録形式	記録形式	xsd:string	0..n	情報資源のファイルの記録形式、物理媒体又は次元を記述するためのプロパティ用語
ic:記録形式コード	記録形式コード	ic:コード型	0..n	当該情報資源を元にした、本質的に同じ内容で、記録形式が異なるような関係の情報資源を記述するためのプロパティ用語
ic:出処	出処	xsd:string	0..n	当該情報資源の由来となるような関係の情報資源を記述するためのプロパティ用語
ic:権利管理	権利管理	ic:文書型	0..n	情報資源に含まれる、又はかかる権利管理に関する情報を記述するためのプロパティ用語
ic:言語	言語	ic:コード型	0..n	情報資源の言語を記述するためのプロパティ用語

(8) 期間制約

- 識別子: ic:期間制約型
- 繙承 : ic:制約型
- 説明 : 対象となる事物の制約条件を期間によって指定するためのクラス用語
- プロパティ :

表 8 「期間制約」のプロパティ

識別子	項目名	プロパティの 値型	回数	説明
ic:期間	期間	ic:期間スケジ ュール型	0..n	制約期間を記述するためのプロパティ用語

(9) 範囲制約

- 識別子: ic:範囲制約型
- 繙承: ic:制約型
- 説明: 対象となる事物の制約条件を周知の範囲によって指定するためのクラス用語
- プロパティ

表 9 「範囲制約」のプロパティ

識別子	項目名	プロパティの 値型	回数	説明
ic:上限値	上限値	ic:数量型	0..n	範囲制約の上限値を記述するためのプロパティ用語
ic:境界を含まない 上限値	境界を含まない 上限値	ic:数量型	0..n	範囲制約の境界を含まない上限値を記述するためのプロパティ用語
ic:下限値	下限値	ic:数量型	0..n	範囲制約の下限値を記述するためのプロパティ用語
ic:境界を含まない 下限値	境界を含まない 下限値	ic:数量型	0..n	範囲制約の境界を含まない下限値を記述するためのプロパティ用語

2.3 クラス用語の継承元変更

クラス用語「概念」の新設に伴い、下記のクラス用語の継承元クラス用語を「ic:事物型」から「ic:概念型」に変更しました。

表 10 継承元クラス用語が変更になったクラス用語

ic:ID型 ic:アクセス区間型 ic:アクセス型 ic:コード型 ic:関与型 ic:期間スケジュール型 ic:金額型	ic:構成員型 ic:施設関連型 ic:重量型 ic:状況型 ic:人�数型 ic:数量型	ic:組織関連型 ic:長さ型 ic:日時型 ic:日付型 ic:面積型 ic:容量型
---	--	--

2.4 プロパティの追加

「ID」、「イベント」、「コード」、「人」の各クラス用語に、プロパティを追加しました。

表 11 各クラス用語に追加されたプロパティ

クラス用語	プロパティ	値型	回数	説明
ID	参照	ic:参照型	0..n	追加情報などを参照する URL を記述するためのプロパティ用語
イベント	利用対象	ic:対象型	0..n	イベントや制度等の対象となる事物を記述するためのプロパティ用語
コード	参照	ic:参照型	0..n	追加情報などを参照する URL を記述するためのプロパティ用語
人	年齢	ic:数量型	0..1	人の年齢を記述するためのプロパティ用語
	身長	ic:数量型	0..1	人の身長を記述するためのプロパティ用語
	体重	ic:数量型	0..1	人の体重を記述するためのプロパティ用語

2.5 その他の変更

2.5.1 回数定義の変更

「発行者」プロパティについて、複数の発行者を記述できるよう、回数の定義を変更しました。

表 12 回数定義を変更したプロパティ用語に関するクラス用語一覧

クラス用語	プロパティ	値型	コア語彙 2.4	コア語彙 2.3.2 以前	説明
ID 体系	発行者	ic:実体型	0..n	0..1	ID 体系の発行主体を記述するためのプロパティ用語
コードリスト	発行者	ic:実体型	0..n	0..1	コードリストの発行主体を記述するためのプロパティ用語

2.5.2 その他の軽微な修正

クラス用語、プロパティ用語の説明文を一部修正しました。

2.6 新たに利用を推奨しないこととなったプロパティ用語

コア語彙 2.3.2 からコア語彙 2.4 へのバージョンアップに伴い、以下のプロパティ用語について、利用を推奨しないこととなりました。利用を推奨しない用語は将来のバージョンでは削除される可能性があります。

●新たに利用を推奨しないこととなったプロパティ用語

- 「ID 体系」>「URI」（「事物」から継承されている「参照」プロパティを使用してください。）
- 「コードリスト」>「URI」（「事物」から継承されている「参照」プロパティを使用してください。）
- 「イベント」>「対象者」（「イベント」>「利用対象」プロパティを使用してください。）

利用を推奨しない用語は、Core240bc.xsd（後方互換用パッケージ）に収録されています。